

後期スタート！わくわくドキドキ 充実の日々に

本年度も早いもので半年がたち、10月からいよいよ後期がスタートしました。新型コロナやインフルエンザの感染者数増加がまだまだ心配されますが、後期もしっかりと感染対策を行いながら、充実した毎日となるよう取り組んでまいります。

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変わり、コロナ禍で実施が難しかった教育活動を再開しています。4月からこれまで、保護者さんを招いての運動会を学部ごとに実施したり、小グループに分かれてプールに入ったり、そのプールにはボランティア共生大学登録者の方々が監視のお手伝いに来てくださったり、PTA研修会と重ねてのハートフルセミナーを対面で実施したりと、コロナ禍以前の活動を再び実施することができました。

今後も、子どもたちの学習経験や社会体験を大事にし「本物に触れる」体験をできる限り積むことができるように教育活動を充実させたいと考えています。すでに「荒尾太鼓」さんをお招きし、迫力ある演奏を体感しました。「警察音楽隊」を招待しての音楽会も気企画中です。また、それぞれの学習グループでの修学旅行、小・中学部一般学級での「ARA・SHI 発表会」や重複学級の「ARA・CHO 音楽発表会」、小学部5年生の宿泊学習等も計画中です。特に修学旅行については行き先を県外として計画しています。万が一、旅行先で感染した場合の対応を含め、保護者の皆様には御協力をいただく必要がありますので、御理解の程どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月から本校高等部一般学級が岱志高校内の校舎に移転し、二校舎制をスタートしています。両校にとってこの移転が一層の充実をもたらすものとなるよう、連携の形を模索中ですが、大変ありがたいことに、岱志高校の先生方や生徒の皆さんに温かく受け止めてくださっています。これから生徒同士が協力して取り組める活動などをさらに実施していきたいと考えています。学部通信や学校HPなどでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

今年も残り3か月。子どもたちの「わくわく ドキドキ」を大切にしながら教育活動に取り組んでまいります。